

ぶらりまち紀行



那賀川に吹く風をとらえ
 自慢の角凧を大空高く舞い揚げる
 いくつになっても 河川敷に来ると心が弾む
 風上に向かって走れば 幼い頃の記憶が甦る



那賀川河川敷(羽ノ浦町
 妙見)に集まれ!
 ※こども用の貸出し凧も
 あります。(無料)



羽ノ浦新春凧揚げ大会
 1月3日(火)
 午前10時～午後3時



明治から昭和初期にかけて盛んに行われた凧揚げの魅力を、平成生まれの子どもたちに伝えたい。平均年齢70歳のおやじたちが凧揚げに夢中になっている。

その昔、那賀川の河川敷は凧の掛け合いでにぎわった。数十もの凧が大空に悠々と舞い揚がる様は、幼い頃の思い出として記憶に刻まれている。活気に満ちたまちの姿をもう一度取り戻したい。おやじたちの童心が甦える。

平成20年8月、現役時代に培った経験と知恵を地域の活性化に役立てようと、町内に住むおやじたちが「何でも塾」を開いた。気心の知れた仲間との遊びの場は、史跡巡りから料理教室までと幅広い。学ぶことは地域を知ることであり、自分自身を見つめ直すことでもある。楽しみながら地域を元気にしたい。そんな思いが渦となつて、地域の人々を巻き込んでいく。

幼い頃の遠い記憶を手繰り寄せるように、力いっぱい凧を操るおやじたち。大空高く舞い揚がった凧に、地域の未来を映し出し出している。

